

事務事業名	市道正理大倉線道路改良工事	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名	(07) 道路網の整備	担当者名	内田 貴宏	電話番号 (内線)	0854-40-1063
基本事業名	(018) 生活道路の新設・整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 0140101503	3740	起債道路整備事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)	市道正理大倉線は、国道314号から市道下熊谷上熊谷線を経由し、高速道路正理大倉工区へ接続する道路である。しかし、幅員は3~4m程度と狭く、一般車両、緊急車両の通行に支障をきたしていた。このため、幅員を5mに拡幅し、車両の走行性を向上させるものである。	高速道路正理大倉工区へのアクセス道となったため、併せて道路改良を実施し、一般車両、工事車両の通行を確保する

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
・道路改良 33,015千円 ・物件補償 946千円 ・その他経費 839千円 合計 34,800千円	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 (A) 千円	0	0	34,800	0	0	0
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計 (B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円	0	0	394	0	0	0
①業務委託と平行して、地元協議、調整 ②実施設計を行い工事発注 ③現場管理(初年度以降は②からの繰返し)	1 100						

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	・道路改良 ・物件補償 ・その他経費	⑤ 活動指標							
② 24年度計画(24年度に計画している主な活動)	平成23年度に完了	ア 舗装改良区間延長	m	0	0	80	0	0	200
		イ 供用開始延長	m	0	0	200	0	0	200

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	市民	⑥ 対象指標	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
		ア 人口	人			41159			
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	⑦ 成果指標							
		ア 改良延長		0	0	80			200
		イ 供用開始延長		0	0	200			200
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	⑧ 上位成果指標							
		ア 市道改良率	%			55.9			
		イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%			55.7			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
この事業は、平成16年度から17年度までの、2か年で約100m区間は、暫定改良済みであるが、平成18年度より高速道路工事が着手されたため、22年度まで事業を休止していたところです。高速道路担当課と協議の結果、23年度後期より事業再開の目処がたったため、事業再開することとなった。	合併特例債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	高速道路工事説明会の際に、再三、地元より、早期完成を求める声が多く寄せられていた。

事務事業名	市道正理大倉線道路改良工事	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 車両の走行性が向上することは、安全で利便性の高い道路の整備につながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 道路認定されている道路である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路であるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 平成23年度完成
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 平成23年度完成
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ H22年度は臨時交付金で整備、H23年度以降は社会資本整備総合交付金で実施中であり、これ以上有利な財源がないため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 工法は設計の段階で比較検討し、経済性のよい工法を採用している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 関係機関及び用地等の関係者と密接に関わる必要があり、個人情報等も多く含まれるため不可能である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	財政上の都合により複数年度にわたり工事を実施したことにより、道路利用者に対し通行規制等の不便が多く生じてしまった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
従来どおりの事業を行うには、交付金の確保、過疎債の借入を受けることが必要である。																							